

平成29年度 施策評価表

課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ
---------	---------------

作成年月日：平成30年9月28日

施策名	3-(5)-① 芸術・文化活動の振興		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(5) ふるさとの記憶を伝える芸術・文化活動の推進	①芸術・文化活動の振興
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民が心豊かな生活を送れるよう、鑑賞や発表の機会など文化事業の充実に努めます。 ● 南幌町における芸術・文化の振興の中心的な役割を果たしている文化協会の支援に努めるとともに文化団体などの育成に努めます。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南幌町の文化活動は文化協会が中心となり、音楽や美術、舞踊、文芸など様々な分野において団体や個人が活動しており振興が図られています。 ● 町民の芸術文化に対する関心を高めるため、鑑賞や発表の機会を文化協会などと連携し、実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化団体においては、会員数の減少や会員の高齢化などの理由により一部の団体で活動が困難な状況が見受けられることから継続した支援が必要です。 ● 町民の心豊かな生活を実現していく上で芸術・文化活動は重要であることから、鑑賞や発表の機会などを通じて幅広く関心を高める必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名		数値化	
	町民の心豊かな生活を実現していく上で、芸術・文化活動は重要であるため、主体的に活動を行っている文化サークルの団体数を、代替指標として設定。			成果指標 (総合計画・施策評価)		可能	
						不可能	
						未計測	
				代替指標 ※成果指標がない場合		指標の設定	
			文化サークルの団体数		○ 可能 不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	団体				40	40	
実 績	団体	37	39	41	33		
達成率	%				83.0		会員の中には高齢者が多く、継続的に活動できないため、解散及び文化協会を退会する団体が増加した。
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	会員の高齢化が進み、退会や解散により活動が困難な団体が多くなっている状況から、新たなサークルの結成に向けての支援や、若い年齢層が活動し易い環境が必要である。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

高い

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	単位					H29実績	H30予算	
					実績								
1	芸術・文化推進事業	(1)	生涯学習課	文化サークル数	40	団体	・芸術鑑賞会の開催(幼児・児童・一般) ・近隣市町村にて芸術を鑑賞する機会の提供 ・美術鑑賞事業(絵画・書道・写真等の展示) ・書き初め大会の開催 ・文化団体の支援	I	I	1 現状のまま継続	2,032	高い	
					33	団体					1,457		
2													
3													

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H29事業費 2,032

H30予算 1,457

②H30に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1					
2					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	芸術・文化活動の活性化を図るために、鑑賞の機会や発表の機会を設けることが重要であることから、事業構成として妥当である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	【評価】	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成30年度以降の予算の方向性	
	特に課題とすべき指摘事項はない。		A						
			B						拡大
			C	1					○ 維持
			D						縮小